



暑い！暑い！あいつは決まって「暑いですねえ～」家の中では煮えそうで、外を歩けば焦げそうで、車に乗ればオーブンに入ったみたい（入ったことはありませんが）———岡見公民館だより8月号編集後記引用———



真に今年の夏を象徴する文面に、全くもって同感です。9月に入ってもまだまだ猛暑日が続いていますが、各市町におかれましては、8月の繁忙期、事業を終えられ、やっと一息つくといった頃でしょうか。

さて、当センターのホームページは、この4月に開設いたしましたところですが、1,100件（9/15 現在）のアクセスをいただきました。今年度事業の最新情報、公民館から寄せられた事業風景、各市町のイベント・学習情報、親学プログラム等、掲載しておりますので、まだの方は一度観ていただけますか。もちろん、当センターが行う講座受講申込書も入っておりますので、ご利用下さい。

西部社会教育研修センター

検索

## 研修報告 7、8月の研修の様子をお伝えします

### 基礎研修 コミュニケーション術入門講座

7月22日(木) 於: 益田市立市民学習センター  
受講者 54名

「アイコンタクト」「笑顔」「うなずき・あいづち」を意識して会話をした時と、意識しないで会話をした時の違いをペアになって体験しました。聴き方を少し気をつけただけで、相手はずいぶん話しやすくなることを体験することができました。



声

- ◆最近、来館された方と、ゆっくりコミュニケーションをとることが少ないことを、この研修を通して気づかされました。初心にかえり、笑顔で人と接するという心を心がけたいと思います。
- ◆目をあわせずに会話をしたり、無表情で話を聞かれたりすると、自分がどのような気持ちになるかが良く分かりました。日ごろから聴く時のポイントを気にとめながら会話をしたいと思いました。

### 基礎研修 プレゼンテーション術入門講座

6月 9日(水) 於: 江津市立二宮公民館  
受講者 24名  
7月22日(木) 於: 益田市立市民学習センター  
受講者 48名  
8月 3日(火) 於: 大田市役所  
受講者 7名

講義では、プレゼン3原則「面白く」「分かりやすく」「上手に表現」を押さえながら学習を進めました。

後半の表現力を高める「グループワークトレーニング」では、6つの課題をこなしていくうちに自然に表現力がついてきました。最後にこれまで習ったことを使ってプレゼンをしました。個性的なプレゼンが数々披露されました。



声

- ◆プレゼンのポイントをしっかり身につけて、相手に「そっかあ！」と思ってもらえる話し方をしていきたいです。
- ◆プレゼンテーションのワークを行ったり、グループでの話合いや他の方の思いなども聴いたりできて大変良かったです。この学びを活かして今後の公民館事業を充実させていきたいです。

## 課題別研修 親学ファシリテーター養成講座

7月29日(木)～30日(金) 於：いわみ～る  
受講者 11名

この講座は、新たに今年度から始まりました。親学プログラムを活用して、親学講座を進行するファシリテーターを養成します。参加者は、自分たちで親学プログラムの中からプログラムを選び、分担を決め、練習を行った後、親学ファシリテーターとして前に立ちました。素晴らしいファシリテーターぶりでした。



声

- ◆ 親学の必要性、親学ファシリテーターのテクニック、ファシリテート体験と大変価値ある研修を受講させていただき勉強になりました。
- ◆ 参加者の皆さんの素晴らしい人間味に触れて、二日間の研修がより楽しいものになりました。
- ◆ 初めてファシリテーターをやりましたが、研修を終え、何かかすかな光といえますか、頑張ればできるかなという感じになりました。

## 課題別研修 「学校教育と社会教育」兼ふるさと教育講座

前半は、三つの事例発表が行われ、各地域の特色ある実践が紹介されました。どの発表も大変素晴らしいものでした。後半は、中学校区ごとにグループ協議を行いました。これまでの実践を振り返り、今後のふるさと教育の進め方についても意見交換をしました。学校関係者と地域の方がつどい、素敵な時間が共有できました。

浜田会場 8月11日(水) 於：浜田教育センター 受講者 51名

事例1 「ふれあいルーム」でつながる学校・地域・家庭

浜田市立松原小学校

事例2 「総合的な学習の時間を支える公民館」～ふるさとを見つめて～

浜田市立雲城公民館

事例3 「ふるさと教育でつながるまちづくり」

邑南町教育委員会

益田会場 8月17日(火) 於：益田市人権センター 受講者 71名

事例1 「子どもたちの応援団づくり～学校をステージに広がる出会い～」

益田市立匹見小学校

事例2 「子どもたちのふるさとへの想い～地域への発信～」

津和野町立畑迫小学校

事例3 「学校で広がる地域の絆」

吉賀町立柿木中学校



## 津和野町教育ビジョン

津和野町教育委員会 田中茂秋

本年度、津和野町教育委員会では、未来を託す人づくりのあり方について、幅広く住民から意見を聞き、今後10年の本町教育の基本指針となる「津和野町教育ビジョン」の策定に取り組んでいます。現在、学校教育、文化財、社会教育の3部会に分かれてそれぞれの在り方について検討しているところです。

社会教育部会では、学社融合研究所代表の越田幸洋氏を部長とし、津和野町の各社会教育関係団体代表がそれぞれの立場で日頃感じていることを誰もが出し合い、津和野町の社会教育の現状や課題を把握してきました。先日までのところで、少子高齢の地域に向き合い地域住民の絆を強めるためにも、改めて公民館、図書館を社会教育の核とし地域の人材の育成することの大切さを参加者全員で再確認したところです。

今後、三部会から出された方向性が有機的に機能し、津和野町の教育ビジョンとして地域住民の活力につながるようになっていきます。



津和野町教育ビジョンの全大会



社会教育部会